

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公表番号】特表 2002-518559 (P2002-518559A)

【公表日】平成 14 年 6 月 25 日 (2002.6.25)

【出願番号】特願 2000-555948 (P2000-555948)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/38 (2006.01)

C 0 8 F 4/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/38

C 0 8 F 4/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 12 日 (2006.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

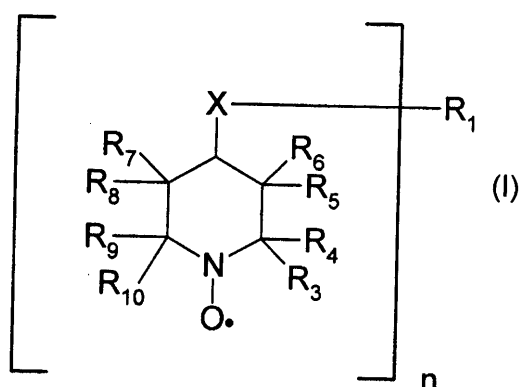
【請求項 1】 a) 少なくとも一種のエチレン性不飽和モノマーまたはオリゴマーと

、

b) 該エチレン性不飽和モノマーまたはオリゴマーの重合を開始することが可能なラジカル源と、

c) 少なくとも一種の次式 (I)

【化 1】



[式中、

n は、1 または 2 を表し、

R₃、R₄、R₉、R₁₀ は、互いに各々独立して、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基、炭素原子数 2 ないし 18 のアルケニル基または炭素原子数 2 ないし 18 のアルキニル基を表すか、または

R₃と R₄ および / または R₉と R₁₀ は、結合する炭素原子と一緒にあって、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基を形成し、

R₅、R₆、R₇、R₈ は、互いに各々独立して、水素原子、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基、炭素原子数 2 ないし 18 のアルケニル基または炭素原子数 2 ないし 18 のアルキニル基を表し、

X は、 $-O-$ 、 $-O-C(O)-$ 、 $-NR_2-$ または $-NR_2-C(O)-$ を表し、
 R_2 は、水素原子、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基またはフェニル基を表し、
n が 1 を表す場合、

R_1 は、炭素原子数 8 ないし 36 のアルキル基、炭素原子数 8 ないし 36 のアルケニル基
または炭素原子数 8 ないし 36 のアルキニル基を表し、
n が 2 を表す場合、

R_1 は、炭素原子数 10 ないし 36 のアルキレン基、炭素原子数 10 ないし 36 のアルケ
ニレン基または炭素原子数 10 ないし 36 のアルキニレン基を表す。] で表される化合物
を含む重合性組成物。

【請求項 2】 少なくとも一種のエチレン性不飽和モノマーまたはオリゴマーの遊離ラジ
カル重合による、オリゴマー、コオリゴマー、ポリマーまたはコポリマー（ブロックまた
はランダム）の製造方法であって、遊離ラジカル源および請求項 1 記載の式 I で表される
化合物の存在下で、モノマーまたはモノマー/オリゴマーを加熱し、そして該エチレン性
不飽和モノマーまたはオリゴマーを重合することからなる方法。